

第 5 9 回 市民活動支援センター運営協議会

日 時 : 令和 7 年 1 0 月 2 8 日 (火)
午後 2 時～

場 所 : 市役所低層棟 4 階 委員会室

次 第

1 開 会

2 市民生活部長挨拶

3 議 題

(1) 議案

1) 市制施行 7 5 周年記念市民アイデア事業の第 3 回審査について

2) 市民活動支援センター運営協議会の開催方針について

(2) 協議事項

1) 令和 7 年度前期の活動報告と令和 8 年度以降に向けて

①開催結果報告

- ・ 学習会 (パソコン・NPO 法人)
- ・ 野田夏まつり躍り七夕 (野田よさこいフェスタ 2 0 2 5)
- ・ 第 1 回団体交流会
- ・ 市職員向け協働のまちづくりセミナー (市民協働の推進に関する職員研修)

②中間報告

「市制施行 7 5 周年記念事業 のだ市民活動ふれあいフェスティバル 2 0 2 5」第 8 回市民活動元気アップふえすた

(3) 報告事項

1) 市民活動支援センター運営協議会委員の改選について

2) 令和 8 年度実施分野田市市民活動団体支援補助金について

3) 令和 7 年度市民活動支援センターの登録状況及び利用状況について

4 閉 会

(1) 議案

1) 市制施行75周年記念市民アイデア事業の第3回審査について

令和7年5月3日に市制75周年を迎えるにあたり、市民、各団体のみなさまと一緒に祝いを盛り上げていくために、野田市制75周年冠事業を実施します。

なお、令和7年7月26日から10月3日までに申請のあった事業は以下のとおりです。

このうち、里区自治会が実施する「知られざる清水公園フィールドワーク」については、今回の協議会が事業実施日（11月8日）の直前であり、準備の都合上協議会開催前に承認をする必要があったことから、令和7年1月17日開催の協議会で決定しているとおり会長専決事項とし、野田市制施行75周年記念市民アイデア事業実施要領第4条第1項の規定により承認しました。

【会長専決】

事業の名称	知られざる清水公園フィールドワーク
事業団体	里区自治会
実施時期	令和7年11月8日
実施場所	清水公園
事業内容	清水公園造園スペシャリスト伴野政幸氏を迎え、沙羅双樹や劫初の桜など、園内にある樹木を観察して巡ります。
希望する支援	ロゴマーク使用 ・ のぼり旗1本 ・ 横断幕1枚

事業の名称	ボランティアの集い「健康講演会」
事業団体	野田市ボランティア連絡協議会
実施時期	令和8年1月17日
実施場所	総合福祉会館第3会議室
事業内容	食と健康アドバイザー福島寛之氏を迎え、「入院しない、寝たきりにならない、認知症にならない」ために何をすればよいかを、食の面からアドバイスをいただきます。
希望する支援	ロゴマーク使用 ・ のぼり旗1本 市報掲載（12月1日号、15日号）

(1) 議案

2) 市民活動支援センター運営協議会の開催方針について

これまでも、当協議会委員の皆様のご意見が反映されるよう、協議会運営に努めてまいりましたが、より積極的な審議と意見反映を目的に、当協議会の開催方針を次のとおりとしたいと考えております。

①協議事項の新設

これまで、協議会の議題は、「議案」と「報告事項」の2種類だったが、今回より「協議事項」を新たに設け、委員と事務局で意見や情報を積極的に交換し、今後の運営に反映させようとするもの。

議決を伴う「議案」とは異なり、いただいたご意見を事務局にて検討し、できるものは案に反映させ、次回協議会にて検討結果を報告する。

②意見反映のためのスケジュール

年間の事業計画や各種個別事業に対するご意見をいただき、反映させるもの。新規事業等予算に関わるものは、7月の協議会で協議する。

各種個別事業については、開催結果を報告するとともに、あわせて翌年度へ向けて改善点を協議し、前例踏襲ではなく、必要に応じてスクラップ&ビルドによりブラッシュアップしていく。

当協議会での活発な意見交換により、「市民活動、各種団体、支援センターの活性化」を目指していくこととしたい。

<従来>

4月	【議案】当年度市民活動支援センターの事業実施計画（案）について
7月	【報告事項】各種個別事業の開催、開催結果
10月	【報告事項】各種個別事業の開催、開催結果
翌年1月	【議案】翌年度市民活動支援センターの事業計画（案）について
4月	【議案】当年度市民活動支援センター事業実施計画（案）について

<今後の方針>

4月	【議案】当年度市民活動支援センターの事業実施計画（案）について	
7月	【協議事項】当年度の活動報告と翌年度以降に向けて	→予算編成に反映 →事業計画（案）や 実施計画への反映 →継続協議
10月	【協議事項】当年度の活動報告と翌年度以降に向けて ※翌年度の事業計画（案）作成前に意見を伺う	
翌年1月	【議案】翌年度の事業計画（案）について 【協議事項】当年度の活動報告と翌年度以降に向けて	
4月	【議案】当年度市民活動支援センターの事業実施計画について	

(2) 協議事項

1) 令和 7 年度前期の活動報告と令和 8 年度以降に向けて

①開催結果報告

・学習会（パソコン・NPO 法人）

パソコン学習会

市民活動に活かしてもらうため、「伝わる PowerPoint 学習会」を開催しました。開催結果は下表のとおりです。

☆日 程 7 月 2 5 日(金) 午前 10 時～12 時

☆場 所 中央公民館 1 階 会議室

☆対 象 登録団体の会員

☆参加者 4 団体 4 名（参加申込 6 団体 6 名）

☆担当者 向佐支援補助員、藤野コーディネーター

☆内 容 PowerPoint の基本とスライド作成の際に気を付けたいことなどを学ぶ

※・「PowerPoint の講座を開催してほしい」という声が登録団体からあったことや、団体紹介の際に見やすい PowerPoint を作れていない団体が多い印象があったことから今回の学習会を開催しました。

・受付開始から 2 週間程度でほとんどの枠が埋まり、興味のある団体の会員は意外に多いのではないかと感じました。

・基本的なスライドの作り方はもちろん、どんなことを意識してスライドを作ったら良いかや、相手が見やすいデザインについてなども内容に含めました。

・学習会終了後のアンケートでは「パワポの学習会パート 2 を開催してほしい」という意見や「またパソコン学習会に参加」したいという意見をいただきました。登録団体の関心や需要を見極めながら、次の学習会も企画していきたい。

NPO法人学習会

「市民活動団体のための活動資金づくりの学習会～お金と共感を生み出すクラウドファンディングを知ろう～」を開催しました。開催結果は下表のとおりです。

- ☆日 時 7月26日(土) 午前10時～正午
- ☆場 所 総合福祉会館3階 第3会議室
- ☆対 象 登録団体(NPO法人、任意団体)
- ☆参加者 NPO法人 8法人11人、任意団体 8団体9人
合 計 16団体20人
- ☆講 師 特定非営利活動法人まつどNPO協議会理事長
まつど市民活動サポートセンターセンター長
阿部 剛氏
- ☆内 容 団体の活動資金獲得の手法について
クラウドファンディングの基礎と実践事例
講義① 資金調達全体像について
講義② クラウドファンディングの基礎
資金調達計画ワークシート説明、質疑応答
- ☆担当者 皆川センター長、向佐支援補助員、釜田主任コーディネーター
荒井・武原・藤野コーディネーター

- ※・活動の資金づくりの一つとして、クラウドファンディングについての学習でしたが、クラウドファンディングは活用している団体は少なく目新しいこともあり関心の高さが伺える参加状況でした。
- ・この学習会を受けて多くの団体が団体の内容の分析、組織づくりについて気付いたのも特徴的なことです。



※次回の開催予定 第2回目 10月29日(水) 10時～正午
活動資金調達実践～自団体の計画を立てる～
クラウドファンディングの事例と実践

②開催結果報告

- ・ 野田夏まつり躍り七夕（野田よさこいフェスタ 2025）

第 71 回野田夏まつり躍り七夕のけやき夢ロードでのイベント「野田よさこいフェスタ 2025」に市民活動支援センター登録の野田よさこい躍り協議会（6 団体）等が参加しました。開催結果は下表のとおりです。

☆日 時 8 月 3 日（日） 午後 6 時～午後 8 時

☆場 所 けやき夢ロード

☆参加者 ・ 野田よさこい躍り協議会（6 団体）

①特定非営利活動法人野田子ども劇場 野田組

②嬢SHOW輝龍

③YOSAKOI 連 桜舞

④野田おどりこ隊

⑤天空（よさこいソーラン）

⑥東京理科大学Yosakoiソーラン部

・ よさこいソーラン 野田白龍会

合計 7 団体 111 人

・ 市民活動支援センター 職員 6 人

☆内 容 ・ 旗の競演

・ 全員での乱舞 1 曲（願GALA!）

・ チーム演舞 延べ 14 団体

・ 全員での乱舞 3 曲（どっこいしょ、願GALA!、うらじゃ音頭）

※・ 今年 は 2 年 ぶ り に 本 町 通 り か ら け や き 夢 ロ ー ド 商 店 街 に 戻 っ て の 開 催 と な り ま し た 。

・ 曇り空で風もあり熱中症対策にもなり、急病人や事故ありませんでしたが、本町通りで急病人があり、救急車両通行のため 2 回中断しました。

・ 沿道での案内板を 2 個作成し、歩行者の通行が円滑にできる対策をしたため、歩道の通行が止まらずに実施できました。



～チーム演舞～



～参加者全員での記念写真～

・ 第 1 回団体交流会

施設訪問ボランティア団体交流会～つながる・ひろがるもっと楽しくなる訪問ボランティア～の開催結果は下表のとおりです。

- ☆日 程 9月30日(火) 午前9時半～午前11時半
- ☆場 所 総合福祉会館2階第1会議室
- ☆対 象 訪問型ボランティア団体
- ☆参 加 者 16人／10団体(事前申込11人、欠席0人、当日参加5人)
- ☆参加団体 ①大江戸相撲甚句会(3人) ②野田マジッククラブ(1人)
 ③雲雀ハーモニカクラブ(2人) ④爆笑 星の座(1人)
 ⑤NPO 法人マ・メール(1人) ⑥演芸出前「仕出し屋」(2人)
 ⑦介護・認知症の家族と歩む会・野田(1人)
 ⑧のだ要約筆記サークル「ほたる」(2人)
 ⑨傾聴ボランティア・ダンボ(2人) ⑩童謡の会(1人)
- ☆事 務 局 向佐支援補助員、荒井・藤野・武原コーディネーター
- ☆内 容 (1) 団体交流会の主旨説明 (2) 参加団体から活動内容紹介
 (3) グループワーク① (4) グループワーク②
 (5) 意見交換 (6) フリートーク

(参加団体の感想)

- ・ 団体活動紹介では、「他団体の活動内容を知ることが出来て良かった」「色々な団体があるのが分かって良かった」との意見がありました。
- ・ グループワークでは、「他の団体の動きを知ることが出来て良かった」「意外な団体(傾聴ボランティアや要約筆記サークル)の話を知ることが出来て良かった」との感想がありました。
- ・ 意見交換では、「訪問ボランティアをする際に各団体を繋げるコーディネーターが必要」「訪問ボランティア先での傾聴や要約筆記の必要性を感じる」などの意見がありました。
- ・ フリートークでは、連絡先を交換する姿がみられました。



(団体活動紹介の様子)



(グループワークの様子)

・ 令和7年度市職員向け協働のまちづくりセミナー（市民協働の推進に関する職員研修）

千葉県環境生活部県民生活課県民活動推進コーディネーターでもある影山貴大氏の派遣を依頼し、市職員を対象とした研修を開催しました。

結果は以下のとおりです。

1 日 時 令和7年8月20日(水) 第一部 13時30分から16時30分

2 会 場 野田市中央公民館 講堂(野田市鶴奉5-1)

3 参加人数 40名(参加対象職員:主査相当職以上)

4 研修内容

1)講 師 影山 貴大 氏 (千葉県環境生活部県民生活課県民活動推進コーディネーター、合同会社 J-doc company 代表社員)

2)テーマ 持続可能な地域づくりを考える
～対話による市民とのパートナーシップの作り方～

3)講義概要

・講義

日本では官主導で近代化を図ってきたことから、中央集権的なまちづくりがなされている。このことにより、住民は「まちづくり＝行政サービス」と認識していた。1990年代以降、大災害などを経験し、住民自治の考え方が浸透、同時に官主導のまちづくりの限界が認識されるようになった。それにより、官民のパートナーシップを意識したまちづくりの仕組み化がすすめられることとなった。現在、行政と民間だけでなく、企業や学校、市民同士などのパートナーシップも必要とされており、そして今や世界規模でもパートナーシップを持った課題解決はもはや必須である。

・カードゲームを用いたグループワーク

カードゲーム「SDGs de 地方創生」を用いたグループワーク

「SDGs de 地方創生」は参加者がある架空のまちの住人となり、12年間の地方創生プロジェクトに取り組むビジネスゲーム。SDGsをもとにした自分の志を形にしながら、持続可能なまちをつくるのがゴールとなる。

・ふりかえり・質疑応答



(2) 協議事項

1) 令和 7 年度前期の活動報告と令和 8 年度以降に向けて

②中間報告

- ・市制施行 75 周年記念事業 のだ市民活動ふれあいフェスティバル 2025
第 8 回市民活動元気アップふえすた

第 8 回市民活動元気アップふえすたは、昨年度と同様に市民ふれあいハートまつり及び福祉のまちづくりフェスティバルと 3 つのイベントの同時開催で「のだ市民活動ふれあいフェスティバル 2025」と称し、市制施行 75 周年記念事業として開催されます。

第 8 回市民活動元気アップふえすたの参加団体数は、28 団体、全体で 67 団体の参加を得て開催されます。イベントごとの参加団体数は下表のとおりです。

また、イベントの事前案内チラシは別添のとおり、開催内容は別添当日配布パンフレットのとおりです。

参 加 団体数	イベント名			合 計	
	健康スポーツ文化都市宣言記念				
	第 2 4 回 市民ふれあい ハートまつり	福祉のまちづくり フェスティバル	第 8 回市民活動元気 アップふえすた (ちば県民活動 P R 月間 2 0 2 5 賛同行事)	延べ	実質
目 標	2 5	1 4	2 6	6 5	—
成 果	2 8	1 5	2 8	7 1	6 7※
うち新規	8	1	2	1 1	1 1

※ 4 団体が重複して参加

日 時	令和 7 年 11 月 23 日 (日) 午前 9 時 20 分～午後 2 時 30 分
会 場	中央公民館・総合福祉会館・野田ガスホール (文化会館) 等

(3) 報告事項

1) 市民活動支援センター運営協議会委員の改選について

令和 8 年 3 月末日で任期満了となる市民活動支援センター運営協議会委員については、設置目的達成のため次のとおり基本的な考え方に基づき改選します。

① 現在の委員

1 号委員（NPO 活動経験者または市民活動経験者）の 8 名については、市民活動支援センターの運営の経緯を踏まえた継続的かつ適切な運営を確保するため、現職委員の留任を基本とし、留任しない委員は、団体の活動分類別の団体数に応じて、また、女性委員比率 50% を目標として選任しました。

公募委員については、公募した結果、2 名応募があり 2 名就任しました。

② 委員名簿

（任期：令和 6 年 4 月～令和 8 年 3 月）

		所属団体等	活動分類	氏名	備考
1 号委員	1	野田市ボランティア連絡協議会	他団体との連携等	立山 喜弘	会長
	2	特定非営利活動法人野田子ども劇場	子どもの健全育成	北倉恵美子	副会長
	3	市民活動経験者	保健・福祉等	岩井 勝治	
	4	ふろしき研究会野田	環境の保全	加藤眞智子	
	5	野田市手をつなぐ親の会	保健・福祉等	名代ちよ子	
	6	野田市スカウト連絡協議会	学術・文化等	芝田栄太郎	
	7	紙芝居 のっこ	学術・文化等	辻 朝子	新任
	8	特定非営利活動法人野田レクリエーション協会	子どもの健全育成	渡邊 勝男	新任
公募	9	認定 NPO 法人東葛市民後見人の会野田	保健・福祉等	神山憲次郎	新任
	10			矢作 勝美	新任
組織団体内訳			特定非営利活動法人	3 名	
			任意団体等	7 名	
女性委員比率 40%			男性	6 名	
			女性	4 名	

③活動分類別内訳

活 動 分 類	委員数		
	1 号	公募	全体
学術・文化・芸術・スポーツ	2 名	—	2 名
保健・医療・福祉	2 名	1 名	3 名
子どもの健全育成	2 名	—	2 名
他団体との連携等・環境の保全	2 名	—	2 名
合 計	8 名	1 名	9 名

☆運営協議会の設置目的

NPO及び福祉を推進するボランティア団体等の支援及び活動場所の機能を有する野田市市民活動支援センターについて、その強化を図ることを目的として、野田市市民活動支援センター運営協議会を設置する。

(市民活動支援センター運営協議会設置要領 第1条)

今までの経過を踏まえ、設置目的を達成するため次の基本的な考え方に基づき選任する。

- (1) 1号委員（NPO活動経験者または市民活動経験者）は、市民活動支援センター登録団体からの推薦とする。
- (2) 1号委員については、市民活動支援センターの運営の経緯を踏まえた継続的かつ適切な運営を確保するため現職委員の留任を依頼する。
留任する場合は所属する団体からの推薦とし、退任する場合は、次の（3）の基準に基づき、団体に推薦を依頼する。
- (3) 現在13分類159団体（令和7年10月1日現在：最大55団体、最小1団体）が登録していることから、活動分類別の団体数に応じて、団体からの推薦とする。
 - ① 活動分類上位3位（20団体以上）は団体数に応じた委員数 6名
 - ② ①以外の分野は全体の活動分類を考慮した委員数 2名
- (4) 委員の推薦にあたっては、依頼する団体の選定を以下に基づくものとする。
 - ① 推薦にあたっては、その活動分野における団体の会員数を基準とし、会員数が多い団体から順に推薦を依頼する。
 - ② 推薦依頼に対し、推薦を得られなかった場合は、次点の団体に対し同様の依頼を行う。※なお、上記以外の団体から推薦の意向を示された場合は、（6）による募集を案内する。
- (5) 女性委員比率 50%を目標とする。
- (6) 公募委員は2名募集する。

〈 1 号 委 員 の 活 動 分 類 別 委 員 数 〉
 (単位：団体、%、名)

	活 動 分 類	団体数による委員数			現在	計画
		団体数	割合	委員数		
1	学術・文化・芸術・スポーツ	5 5	34.6	2.8	2	2
2	保健・医療・福祉	3 3	20.8	1.7	2	2
3	子どもの健全育成	2 4	15.1	1.3	2	2
4	まちづくり	1 8	11.3	0.9	0	2
5	環境の保全	1 2	7.5	0.6	1	
6	人権の擁護・平和推進	7	4.4	0.4	0	
7	社会教育	2	1.3	0.1	0	
8	他団体との連携・助言・援助等	2	1.3	0.1	1	
9	国際協力	2	1.3	0.1	0	
10	観光の振興	1	0.6	0.0	0	
11	地域安全活動	1	0.6	0.0	0	
12	男女共同参画	1	0.6	0.0	0	
13	情報化社会の活性化	1	0.6	0.0	0	
	合 計	1 5 9	100.0	8.0	8	8

(3) 報告事項

2) 令和 8 年度実施分野田市市民活動団体支援補助金について

令和 8 年度実施分野田市市民活動団体支援補助金の交付団体を、以下のとおり募集します。

1 募集期間

令和 7 年 1 1 月 4 日（火）から令和 8 年 1 月 3 0 日（金）まで

2 補助金の種類等

補助金の種類は、組織基盤強化支援と事業発展支援の 2 種類になります。

補助金の種類	組織基盤強化支援	事業発展支援
補助金額	10 万円以内	20 万円以内
補助率	10 分の 9 以内	10 分の 8 以内
目的	組織の運営又は自立の強化を図る取組に対する支援	事業の発展又は組織の体制の強化を図る取組に対する支援
対象団体※	設立してから 5 年未満の団体	設立後 5 年以上の団体
交付回数	1 団体 1 回までとし、3 年を限度として継続申請できます。 ただし、1 年ごとに書類審査が必要です。	新たな内容であれば 1 団体あたり 3 回まで交付します。 ただし、2 回目以降の申請はそれぞれ最低 3 年後以降とします。
補助対象経費	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会員の拡大に要する経費 ・ 人材の育成に要する経費 ・ 市民活動に必要な備品の購入に要する経費 ・ 組織の運営に要する経費 ・ その他組織の運営又は自立の強化を図るため市長が必要と認める経費 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会員の拡大に要する経費 ・ 人材の育成に要する経費 ・ 市民活動に必要な備品の購入に要する経費 ・ 組織の運営に要する経費 ・ その他事業の発展又は組織の体制の強化を図るため市長が必要と認める経費

※対象団体の基準日は令和 8 年 4 月 1 日とします。

詳細は、別添「令和 8 年度実施分野田市市民活動団体支援補助金募集要項」のとおり

(2) 報告事項

3) 令和 7 年度市民活動支援センターの登録状況及び利用状況について

・ 令和 7 年度市民活動支援センターの登録状況（令和 7 年 10 月 1 日現在）について

（登録団体数）

（単位：団体）

年 度	市民活動団体内訳		合計
	N P O 法 人 一 般 社 団 法 人	ボ ラ ン テ ィ ア 団 体 等 市 民 団 体	
令和 6 年 10 月 1 日現在（1）	1 8	1 3 2	1 5 0
令和 7 年 10 月 1 日現在（2）	1 9	1 4 0	1 5 9
増減（2）－（1）	1	8	9

※令和 7 年 7 月 2 日以降に新規登録された 6 団体の概要は次表のとおりです。

（新規登録団体の概要）

番号	団 体 名 (活動分類)	活 動 内 容
4	いぬねこサポート ～パピーからシニアまで～ (まちづくり)	愛玩動物看護師などが中心となり、犬猫の健康のためのケアに関するアドバイスや相談などを行う。
5	ひばり友の会 (保健・医療・福祉)	オストメイト（人工肛門等保持者）の患者会。野田市在住のオストメイトやその家族、協力者による情報交換等を行う。
6	野田市コウノトリボランティアの会 (まちづくり)	「こうのとりの里飼育観察棟」来館者へのガイドボランティアのほか、コウノトリの見守り活動や普及活動を行う。
7	みどりのふるさとづくり実行委員会 (環境の保全)	「みどりのふるさとづくりフェスタ」の開催や野田市にみどりを増やす活動（花苗等の無料配布や植樹活動）などを行う。
8	野田市生涯学習センターボランティア会 (情報化社会の発展)	パソコン、スマホなど IT 知識に関する支援を行う。野田市生涯学習センターだけでなく、市内公民館でも活動。
9	岡田病院家族会「さくらの友の会」 (保健・医療・福祉)	精神障害当事者の家族のための会。回復支援者の一員である自覚を持つことや家族間の連帯を深めることなどを目的とする。

<令和 7 年度の登録団体数の推移>

年 度	市民活動団体内訳		合計	更新	新規
	N P O 法 人 一 般 社 団 法 人	ボ ラ ン テ ィ ア 団 体 等 市 民 団 体			
令和 7 年 4 月 1 日	1 7	1 1 7	1 3 4	1 3 3	1
令和 7 年 7 月 1 日	1 8	1 3 4	1 5 2	1 4 9	3
令和 7 年 10 月 1 日	1 9	1 4 0	1 5 9	1 5 0	9

市民活動支援センター登録団体活動分類内訳

令和7年10月1日現在

「学術・文化・芸術・スポーツ」が55団体(34.6%)と一番多く、2番目が「保健・医療・福祉」33団体(20.8%)、3番目が「子どもの健全育成」で24団体(15.1%)です。

この3分野合計が112団体となっており登録団体の総数159団体の70.4%となっている。

NPO法人が19団体、任意団体が140団体で、NPO法人は11.9%となっている。

また、重複の活動分類では、「学術・文化・芸術・スポーツ」が77団体と最も多く、2番目が「保健・医療・福祉」62団体、3番目が「まちづくり」58団体となっている。

				主活動の団体内訳				
活動分類		団体数	団体数	割合	内訳1		内訳2	
		重複	主活動		NPO法人	任意団体	更新	新規
1	学術・文化・芸術・スポーツ	77	55	34.6%	4	51	54	1
2	保健・医療・福祉	62	33	20.8%	6	27	31	2
3	子どもの健全育成	53	24	15.1%	5	19	24	0
4	まちづくり	58	18	11.3%	2	16	15	3
5	環境の保全	18	12	7.5%	1	11	11	1
6	人権の擁護・平和推進	20	7	4.4%	1	6	7	0
7	社会教育	43	2	1.3%	0	2	2	0
8	他団体との連携・助言・援助等	57	2	1.3%	0	2	2	0
9	国際協力	8	2	1.3%	0	2	1	1
10	観光の振興	10	1	0.6%	0	1	1	0
11	地域安全活動	10	1	0.6%	0	1	1	0
12	男女共同参画	5	1	0.6%	0	1	1	0
13	科学技術の振興	1	0	0.0%	0	0	0	0
14	職業能力の開発・雇用機会の拡充	4	0	0.0%	0	0	0	0
15	災害救援	1	0	0.0%	0	0	0	0
16	農山漁村・中間山間地域の振興	1	0	0.0%	0	0	0	0
17	情報化社会の発展	4	1	0.6%	0	1	0	1
18	経済活動の活性化	4	0	0.0%	0	0	0	0
19	消費者の保護	1	0	0.0%	0	0	0	0
合計		437	159	100.0%	19	140	150	9

・ 令和 7 年度市民活動支援センターの利用状況（令和 7 年 7 月～9 月）について

①相談等業務

（相談等業務実績）

項 目		令和 6 年 7～9 月(1)	令和 7 年 7～9 月(2)	比較（2）－（1）
相 談	件 数	7 3 件	5 8 件	△ 1 5 件
	団体数	4 6 団体	4 4 団体	△ 2 団体
	時 間	4 2 時間 3 0 分	2 6 時間 3 0 分	△ 1 6 時間 0 0 分
登録申請		件 数	1 4 件	8 件
そ の 他	会議室申請	件 数	3 3 件	6 件
	チラシ配架	件 数	6 件	3 件
	講座申込	件 数	1 6 件	8 件
	ふえすた関連	件 数	3 5 件	△ 4 件
	挨拶	件 数	1 4 件	0 件
	その他	件 数	7 9 件	1 6 件
	小 計	件 数	1 8 3 件	2 9 件
合 計		件 数	2 5 5 件	2 2 件

（相談件数の内訳）

項 目	令和 6 年 7～9 月(1)	令和 7 年 7～9 月(2)	比較（2）－（1）
① 団体立ち上げ	5 件	1 件	△ 4 件
② 登録申請	3 件	6 件	3 件
③ 広報関係	1 件	2 件	1 件
④ 市補助金	1 6 件	7 件	△ 9 件
⑤ 助成金関係	4 件	1 2 件	8 件
⑥ パソコン	2 6 件	1 4 件	△ 1 2 件
⑦ 会計書類	1 件	0 件	△ 1 件
⑧ 協働のまちづくり	0 件	0 件	0 件
⑨ 銀行口座	0 件	0 件	0 件
⑩ 市民活動保険	0 件	0 件	0 件
⑪ 施設・会場	1 件	1 件	0 件
⑫ 法人化	0 件	0 件	0 件
⑬ 市民活動参加希望	0 件	1 件	1 件
⑭ その他	1 6 件	1 4 件	△ 2 件
合 計	7 3 件	5 8 件	△ 1 5 件

②フリースペース等の利用状況

項 目		令和 6 年 7～9 月 (1)	令和 7 年 7～9 月 (2)	比較 (2) - (1)
利 用 件 数		39 件	36 件	△ 3 件
利 用 団 体 数		15 団体	21 団体	6 団体
利 用 人 数		93 人	84 人	△ 9 人
利 用 時 間		35 時間 40 分	35 時間 53 分	13 分
利用 内訳	フリースペース	11 件	17 件	6 件
	上記のうち予約	9 件	13 件	4 件
	団体向けパソコン	29 件	20 件	△ 9 件

③イオンノア店内会議室の利用状況

項 目		令和 6 年 7～9 月 (1)	令和 7 年 7～9 月 (2)	比較 (2) - (1)
利 用 件 数		91 件	80 件	△ 11 件
上記のうち予約		91 件	80 件	△ 11 件
利 用 団 体 数		23 団体	23 団体	0 団体
利 用 人 数		1,722 人	1,521 人	△ 201 人
利 用 時 間		306 時間 29 分	291 時間 14 分	△ 16 時間 45 分